第２次 飯田市中山間地域振興計画 後期の取組（案）の概要について

市民協働環境部

１　第２次 飯田市中山間地域振興計画について

【策定趣旨】

中山間地域は、自然豊かな景観が魅力であるとともに、人々が生活を営みながら地域を保全し、生産活動を継続することにより農林産物の供給をはじめ、森林や水田の保水機能による国土の保全など多面的な機能を担っている。また、先人から受け継がれた伝統文化など大切な財産を有している。一方で人口の減少、高齢化が顕著であり、集落単位での活動を継続することが困難となる地域が生じるおそれがあり、厳しい局面を迎えることも危惧されている。この様な中で、地域外の人とのつながりを広げながら人財となり得る人を呼び込み、新たな活力を創り出す地域を目指し、本計画を策定した。

【基本理念】

（１）中山間地域らしい、中山間地域だからできる暮らし方を実現する
（２）空間を守り、これからの地域づくりにつなげる
（３）潜在的な力を掘り起し、地域の強みを活かした交流を進める
（４）地域に関わる部分＝「関わりしろ」のある地域を目指す
（５）暮らしを支える基盤と生活環境の整備に取り組む
（６）地域と行政が協働して取り組む

【基本方針】（計画期間中に重点的に取り組むこと）

（１）現在住んでいる住民が誇りと愛着を持って住み続ける地域づくり
（２）中山間地域の営みを活かした起業（産業）展開から広がる地域づくり
（３）地域の魅力と資源を活かして交流を促進し、関係人口を増やす地域づくり
（４）地域外からの移住者を増やし、ともに未来を拓く地域づくり
（５）チャレンジから生まれる次世代につなぐ地域づくり

【この計画により目指す 10 年後の姿】

「住む人々が心豊かで暮らし、地域内外の人とのつながりを持てる地域」

■計画期間　2019 年（令和元年）度～ 2028 年（令和 10 年）度

［前期 2019～2021(3 年)・中期 2022～2025(4 年)・後期 2026～2028(3 年)］

２　後期計画の概要

（１）中期の振り返り

重点取組として交流人口及び関係人口の創出・拡大と移住定住の推進をめざし、各地区において地域資源を活用した取組を実施するとともに、地域おこし協力隊の活動や地区を横断した取組、起業家の育成支援や近居・同居支援事業など、それぞれのアプローチから関係人口、移住定住につながる取組を行い 54 人の移住が実現し、新たな交流プログラムも生まれた。移住者の多くは地域との良好な関係を築き、地域に溶け込んでいる。また、農村資源を活用し地域の拠点となるような取組も生まれている。しかしながら人口減少に歯止めはかかっておらず、地域の担い手不足などの課題は深刻化している。

（２）今後の動き・新たな視点

飯田市内の 20 地区において各地区の基本構想・基本計画の推進とともに、地区ごとに人口の安定化を図る「20 地区田舎へ還ろう戦略」に取り組み始めている。都市のニーズを取り込みながら人と人、人と地域とがつながる関係人口を創出し、「移住から定住」につながる取組を強化するとともに、住む人々が自分らしく楽しく暮らし、その思いが子ども達や外へ伝わる地域を目指すことで住みたいと思える新たな「定住からつながる移住」の視点が大切となる。

さらに、社会情勢により変容する価値観や生活スタイルの変化により、定住しない多地域拠点での暮らし方、人とのつながりを大切にする暮らし方、環境を中心とした暮らし方など、様々なライフスタイルへの対応も重要である。

これらの視点は、すべて「人」が中心であり、ここで暮らす人々やこの地域に関わる人々に寄り添った視点も大切である。

（３）取り組むべき課題

中期の取組による一定の効果はあるものの、人口減少に歯止めがかからず、加速度的に進んでおり、地域の担い手不足や空き家の増加など顕著に現れている。そのため、人口の社会減への対応が急務である。

地区ごとに人口の安定化を図るため、より密接に地域と連携しながら取り組む移住定住の推進、関係人口や移住のきっかけとなる都市間交流の機会が少ないことへの対応、生活スタイルの変化等による多様なライフスタイルへの対応、賃貸住宅や活用可能な空き家が少ないため移住希望者のニーズに対応できていない「住まい」の確保への対応、地域に戻ってくる地元出身者が少ないことへの対応を課題と捉え、重点的に取組を実施する。

（４）後期の基本的方向及び重点取組

本計画では、これまでの振り返りと今後の動き、新たな視点、取り組むべき課題を踏まえ、人口の安定化に向け「交流人口及び関係人口の創出・拡大」と「移住定住の推進」に取り組む。

地域への誇りと愛着を持ち、地域で暮らす取組と、関係人口から移住定住へつながる取組、定住から移住につながる取組、一旦外に出ても地域に戻ってくる取組など、地区ごとの人口安定化に向けて取り組む「20 地区田舎へ還ろう戦略」の推進を基本的方向性とし、具体的に次の６つの取組を重点的に進めます。

① 関係人口から定住人口へつながる取組

・地域と連携し、一人一人に寄り添った移住定住の推進・相談支援
・SNS やウェブサイト等を活用した情報発信
・中山間地域と都市圏をつなぐ都市間交流
・中山間地域を舞台とした二地域居住の推進
・人をつなぐ移住コンシェルジュ

② 自分自身が地域への誇りと愛着を持ち、地元出身者が戻ってくる取組

・次世代を対象とした教育の取組（地域と学校が連携した学びの機会）
・地域資源を活用した取組の支援（中山間地域振興・定住支援事業）
・近居・同居に対する住宅支援

③ 中山間地域における「住まい」を確保する取組

・中山間地域の住まいの確保に向けた支援
・空き家の利活用に向けた支援
・近居・同居に対する住宅支援

④ 中山間地域の魅力を生かした暮らしを実践する取組

・地域資源を活用した取組の支援（中山間地域振興・定住支援事業）
・暮らし体験プログラムへの支援
・地域資源を活用した地域おこし協力隊の活動
・農ある暮らしを実現する住まいと並行した農地の利用、確保に向けた支援
・親子留学の取組の支援
・保育園ショート留学の取組の支援と横展開の推進

⑤ 中山間地域の資源を生かした経済が循環する取組

・地域資源を生かした新しい価値を生み出す取組の支援
・農村起業家育成スクールの実施と創業支援
・ツーリズムビジョンと連携した取組

⑥ 中山間地域で情報共有し、横断・連携する事業展開

・中山間地域連絡会議等による情報共有
・共通課題に向けた研修会の実施
・地区が連携した取組の支援
・各地区の取組に対する専門家の派遣